

Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.13
2024.3

仙台白百合女子大学後援会



Contents

- | | | | |
|---|-----------------|---|----------------|
| 2 | 後援会会長挨拶
学長挨拶 | 5 | 大学からの報告 |
| 3 | 部会活動報告 | 6 | 2024年度 行事予定 |
| 4 | 事業活動報告
奨学支援 | | 2023年度 理事名簿 など |
| | | | 編集後記 |



後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 遠藤 由紀子



平素より仙台白百合女子大学後援会活動に学生方、先生方、保証人の皆様には、ご理解、ご協力頂き心から感謝を申し上げます。新型コロナ感染症が発してから4年がたとうとしております。

ご子女におかれましては、これまで様々な制約の中で学生生活を送られて来ました。今年に入り、規制が少しずつ緩和され今まで出来なかったことが実施出来る状況になってきました。一番身近なところでは大学祭を例年通り二日間開催することが出来ました。学長をはじめ、学生たちや皆様の頑張りで無事に終了することが出来たことに改めて感謝いたします。特にコロナ禍で殆どの行事を行うことが出来なかった4年生の学生達とその保証人様はいろいろな思いがあったと思います。他にも講演会やオープンキャンパスなども開催されて、今後も学生達が飛躍出来ることを望みます。

さて、世界では様々なことが起こっており、一方では現在でもイスラエルとハマス間で大規模な攻撃が勃発

しており、今後の世界情勢にも影響を与えと言われております。また、国際情勢ではChat GPTなどの生成AIの活用がビジネスや教育などの分野まで広がっています。日本企業が独自の生成AIの開発を進める動きも加速してきます。このような時代こそ、人間の深い理解を求める仙台白百合女子大学の学びが、それぞれの分野と場面で活かされるものだと思います。

そして、仙台白百合女子大学後援会は2011年10月に発足いたしました。会の目的とする大学と保証人との連携を密に一致協力した活動による学生生活の向上ならびに、大学の発展に向け、事業計画の立案を皆一丸となり進めてきました。保証人の皆様には、引き続き後援会活動のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、学生の更なる飛躍と皆様のご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生



仙台白百合女子大学の教育・学修・研究の推進のためにご支援いただきまして心より御礼申し上げます。本学の各学科が学生に提供する取り組みは、後援会の支援によって初めて実現できるものです。今年度も、国家試験対策、各種検定試験対策、就職支援、大学祭支援、新入生歓迎支援、有名講師の講演会などなど、多岐にわたって学生の成長につながる取り組みを実践、実行することができました。

2023年5月8日をもって新型コロナウイルスが2類相当から5類へと移行し、それをもって一律に求められてきた行動制限が個人の判断に委ねられるようになりました。本学の場合、施設や学校、園などにおいて実習を行う学生が多いため、マスクを取ることに慎重な態度を示す者が多く、その傾向は現在にまで続いているようです。それでも、キャンパスの雰囲気はコロナ禍の時と比べて華やいだものとなりました。学生同士が心おきなく、長い時間、笑顔をもって語り合っているのを見ることができるようになりました。大学祭も従来の形で開催できるようになりました。当たり前のキャンパスライフが戻ってきたのです。

他者と親密な人間関係を築くこと、その教育的意味を最近では考えさせられます。教育の目的のひとつは、人間を信頼できるようになることではないでしょうか。それ

が教育の根幹であり、そこに本学の強みがあると思っています。政府が発表した第五期科学技術基本計画によると、人類はサイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）が融合した新しい社会「Society5.0」の入り口に立っています。コロナ時代に獲得したオンラインの技術や手法を有効活用しながら、本学でも新たな時代の教育を模索していきます。しかし、どのように科学技術が発展しようとも、人と人との親密な関係を前提にしない教育は、どこかで行き詰ってしまうと考えています。

小規模大学であるため、本学では教員・職員・学生がお互い同士を認識できる距離を保つことができます。その中から、意味のある人間関係を発見し、それを育てていくことができます。本学の緑溢れる自然や夕焼けに染まる山々の眺望は、そのような人間関係を織りなすための最高の背景となります。互いに尊重し合う成熟した人間関係を築けるかどうかは、社会生活をおくるにあたっては決定的に重要なことです。国際的伝統を持つこのキャンパスにて、学生の皆さんが意味のある人間関係の土台を築き、友情を育み、将来へ向けての準備をすることができるよう、後援会の皆様と力を合わせて、成長を促す最高の場を整えていきたいと願っています。

部会活動報告

第13回後援会総会報告

2023年度後援会総会は、2023年6月17日（土）に開催いたしました。遠方の保証人の方にご参加いただけるよう対面およびオンライン（Zoom）での併用開催いたしました。

大きなトラブルもなく無事に終了することができました。

審議事項は2022年度事業報告、収支報告、監査報告、2023年度事業計画、収支予算、理事選出の議題について、すべてにおいて原案通りご承認いただくことができました。

また、人間学部学部長（グローバル・スタディーズ学科教授）による「文豪の『食』と文学 -夏目漱石と森鷗外-」をテーマにした講演会を開催いたしました。

福利厚生施設ステラ・マリスにおいて、健康栄養学科考案のメニューでランチを提供することができました。改めての会員の皆さま、理事の皆様へ感謝申し上げます。引き続き後援会活動にご理解とご支援くださいますようお願い申し上げます。

（大学連携部会 堀籠 未来）

大学連携部会活動報告

大学連携部会では、「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」の各支援事業を通じ、学生に対する支援活動を行っております。

「奨学支援」では、奨学金支援と勉学奨励を事業の柱として事業を行いました。奨学金支援は、大学奨学金を補完し一体運用を行いました。勉学奨励は、学科毎に予算の範囲内で様々な支援を行ってまいりました。

「課外活動支援」では、4年ぶりに2日間の開催となった白百合祭の広告宣伝費やバルーンアートの設置について支援を行いました。

「キャリア支援」では、公務員試験対策基礎講座、SPI試験対策講座、履歴書用証明写真撮影の支援を行いました。

今後も学生達が今しかない大学生活を有意義に過ごせるよう、部会と大学側との連携を深め、学生の支援を行ってまいります。

最後に、矢口学長、大学職員の皆様、保証人の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げますとともに、仙台白百合女子大学が今後益々発展されますよう心よりお祈り申し上げます。4年間大変お世話になりました。

（大学連携部会 関 陽一）

事業部会活動報告

事業部会は、「AEDの継続設置の支援」「ウェルカムフェスティバルの支援」「後援会総会講演会の支援」「白百合祭への模擬店参加」「卒業記念品の選定・購入」の活動を下記のとおり実施いたしました。

- 1) AEDの継続設置の支援
 - ・学内AED機器の継続設置にあたり、レンタル経費を負担。
- 2) ウェルカムフェスティバルの支援
 - ・新入生を歓迎するウェルカムフェスティバル開催にあたり、経費を負担。
- 3) 後援会総会講演会の支援
 - ・開催日：2023年6月17日（土）
 - ・時間：11：30～12：30（後援会総会終了後）
 - ・場所：本学 講堂
 - ・講師：本学グローバル・スタディ学科 大本 泉 教授
 - ・演題：文豪の「食」と文学 -夏目漱石と森鷗外-
- 4) 白百合祭への模擬店参加

コロナが5類になり、4年ぶりに2日間の開催。後援会でも伝統の「チャーハン」と「飲み物」の模擬店を出店し、来場者に提供。
白百合祭実行委員会の皆様のご努力により、とても楽しい大学祭となったことに感謝いたします。
- 5) 卒業記念品の選定・購入
 - ・卒業記念品として、ふくさを選定し、経費を負担。

（事業部会 千田 耕也）

広報部会活動報告

広報部会では、後援会会報誌の発刊を通して学生の大学生活の活動支援を行っております。

この数年コロナウイルスの感染予防対策に重点の趣があった為、白百合らしい活動の場がなく、発信する内容にも少なからず影響がありましたが、昨年、コロナ対策の緩和により学生たちの活動も活発に盛り上がりを見せました。

白百合の歴史と精神を紙面を通して発信を行います。

学生を取り巻く大学側、保証人の皆様のお力添えに感謝申し上げます。

（広報部会長 釵持 陽子）

事業活動報告

白百合祭に参加して

2023年10月21日(土)、22日(日)に第56回白百合祭が開催されました。コロナが第五類となり今年度は4年ぶりに例年に戻し二日間開催され、多くの方々にご来場いただきました。今年の大学祭のテーマは『Every girl is a princess』～女の子は誰でもお姫様～というメッセージ通り、一人ひとり学生が生き生きと輝いていたのがうれしく思いました。

後援会からは例年通り、伝統!?のネギ油香る炒飯と飲み物の模擬店を出店させていただきました。一日目の後半は雨天のため販売を断念しましたが、二日目は無事完売することができました。

お忙しい中、発注や買い出し等の準備、当日の運営に携わっていただいた皆様、ご協力ありがとうございました。これからも伝統のネギ油香る炒飯の販売を継承していただければ幸いです。

他の出店では、学生たちが工夫を凝らしていて、白百合祭のために時間をかけて準備を行ってきたことが伝わり、無事開催できたことを改めてうれしく思いました。

最後になりますが、白百合祭を開催するにあたり、先生方や事務の方々、理事の皆様にはお力添えをいただいたことに心より感謝申し上げます。

(事業部会 上野 美和)

白百合祭御礼

10月21日(土)、22日(日)の2日間に渡り、第56回白百合祭が開催されました。2日間合わせて1,171名と非常に多くの方に来場していただきました。今年度は、「プリンセス芸人のセクシーお笑いライブ」と題し、平野ノラさん、Aマッソさんをゲストに迎えたお笑いライブを行いました。また、数年ぶりに餅まき企画も行い、本学の学生はもちろん、来場して下さった方々にも喜んでいただけたのではないかと思います。

委員会のほとんどのメンバーが、白百合祭を経験したことがなく日々頭を悩ませながら準備を進めてきました。不安も抱えながら迎えた白百合祭当日でしたが、大成功に終わることができました。また、私自身も委員長という大役を務めあげることができたのもたくさんの方々の支えや協力があったからだと思っています。

最後になりましたが、後援会の皆様方には白百合祭開催にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今後とも私たち学生へのご支援くださいますようお願いいたします。

(白百合祭実行委員長 亀谷 さくら)

奨学支援 (援助金事業の御礼)

人間発達学科 (子ども教育学科)

後援会の皆様、日頃より私達の学生生活充実のためにご協力頂き誠にありがとうございます。

さて、先般は「子ども教育学科開設&保育士養成開始20周年記念イベント」に補助金を頂き、ありがとうございました。無事、実り多い楽しいイベントが開催されたことをご報告いたします。

午前の保育セミナーでは、学生や教職員が歌や踊りを楽しみ、子ども教育に関わる夢を目指す仲間たちとの絆を深めました。

午後は「レッジョ・エミリア・アプローチ」を取り入れている八戸のこども園の園長先生のご講演がありました。素晴らしい教育理念について学び、学生一同自身が保育・教育理念について視野を広げ、改めて考える機会になりました。今回のイベントを通じ、これからの学生生活がより豊かで有意義なものになると思っております。

このような貴重な機会にご支援くださった後援会の皆様、またご指導くださった先生方に改めて感謝申し上げます。今後とも夢に向かって努力する学生のために、ご支援賜りますようよろしくお願い致します。

(3年 國分 優香)

心理福祉学科

日頃より、後援会の皆様からの多大なるご支援に心より感謝申し上げます。

私たち学生の教育設備や環境、文化祭やクリスマス会等の行事にお力を注いでいただき、充実した学生生活を過ごせています。

私は精神保健福祉士受験資格の取得を目指し、毎日の授業、実習や国家試験合格に向けて勉学に励んでいます。

3年生となり将来について考える時期に差し掛かりました。大学ではキャリアソース課等の学生就職支援が行われています。誰もが就職活動に不安を抱えており、何から始めて良いのかわからない状態の学生も多かったです。就職ガイダンスがあることで、面接練習や履歴書の書き方、インターンシップや説明会について学ぶことができました。また、個別でもひとりひとり丁寧にご指導していただき、安心して準備することができています。

最後になりますが、ご支援くださった後援会の皆様、ご指導して下さる先生方に改めて御礼申し上げますとともに、これからもご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(3年 遠藤 凜)

健康栄養学科

後援会の皆様、日頃より私たち学生へのご支援をいただき、ありがとうございます。

私たちは、管理栄養士国家試験の資格取得に向け、日々試験勉強をしてきました。国家試験対策として、SGS総合栄養学院の方や外部講師の方々から対策講座をしていただきました。対策講座では模擬試験から、私たちの苦手分野を分析していただき、そこを中心に復習しました。さらに、国家試験の頻出問題や予想問題も重点的に復習をしました。疑問点は積極的に質問をして理解が出来るまで丁寧に教えていただきました。その後、実際に過去問を解いたり、友人と教え合ったりすることで理解が深まったと思います。他にも、分野ごとの繋がりも加えて教えていただくことで、点と点が結びつき問題を解くことが楽しいと思うようになりました。

このような充実した対策講座に参加が出来るのは、後援会の皆様のおかげです。管理栄養士の国家試験に必ず合格し、社会に貢献できるよう頑張ります。また、管理栄養士を目指す後輩のためにも今後もご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

(4年 鈴木 綾)

グローバル・スタディーズ学科

後援会の皆様、日頃より私たち学生に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。私は1年次から現在までランゲージカフェを利用し英語、韓国語、中国語の3ヶ国語を学んでいました。ランゲージカフェでは、先生とのフリートークや大学の講義で使用している教科書を使い、講義で分からなかった部分を質問し、理解を深めていました。新型コロナウイルスの影響で留学をすることは叶いませんでしたが、国内にいても何か行動を起こそうとランゲージカフェを利用し、積極的に会話の練習を行い、コミュニケーションスキルを高めていました。失敗を恐れず話してみるチャレンジ精神が身に付いたと感じています。

また、今年度はTOEICを受験し昨年度より得点を伸ばすことができました。より多くの学生がそれぞれの資格取得の目標に向かって勉学に励み、試験に挑戦することができるのは大変貴重な機会であり、後援会の皆様のご支援のおかげです。

これからも後援会のご協力のもと、勉学奨励金補助をよろしくお願いいたします。

(3年 早坂 莉欧)

大学からの報告

学生支援報告

2023年度、学生サービスに取り組んだ事例として、3点ご報告します。

◆**スクールバスラッピング デザイン決定**
スクールバスの新しいラッピングデザインが、投票の結果、右記のとおり決定しました。変更時期は2024年春を予定しています。



◆**食堂ステラマリスに個人ブースを設置しました**
食堂ステラマリスの南側ベルナデッタ前の机にパーテーションを設置し、簡易の個人ブース3席を作りました。静かな空間が保てる個人スペースは食事以外にも、勉強や休憩場所としていつも満室です。周囲の目を気にせず、安心して利用できるスペースとして希望が多いようですので、今後増設も考えています。



◆**充電ケーブルの貸し出しを開始しました。**
学生への各種アンケートの結果やアンバサダー学生の要望から、スマートフォン等の充電機器の貸し出しを開始することになりました。対応端子としてLightning、USB-type C、micro-USBの三種類のケーブルを購入しました。充電がなくなることで非常事態にもなりかねず、今や学生にとってはなくてはならないものです。少しでも学生のみなさんが安心できる環境を作り、サポートしたいとの思いから備えることが決定しました。



(事務局長 志田 昌幸)

キャリア支援報告

2023年度は、下記3件の支援を実施いたしました。

- ①「公務員教養試験対策WEB講座」：公務員受験を目指す学生のために、オンデマンド配信の講座を実施し27名から申込みがありました。一般知能11コマ、文章理解4コマ、社会科学4コマ、人文科学6コマ、自然科学4コマの計29コマで、視聴期間は2023年8月25日～2024年3月31日です。
- ②「必勝！就職活動用 証明写真撮影会」：プロのカメラマンとヘアメイクスタッフによる就職活動用写真撮影を学内において実施し116名が参加しました。撮影は2024年1月11・12・15日の3日間とし完全予約制で行いました。就職活動で使用する写真は第一印象が重要とされており、学生も気合が入っていたようです。
- ③「SPI就職試験対策講座」：一般企業や法人系で多く実施されている筆記試験です。最近では公務員試験にも用いられることが増え、低学年から対策が必要となります。3月19・21・22日の3日間で9コマの講座を対面で実施しました。

(キャリアリソース課長 泉田 礼子)

2024年度 行事予定

前 期		
4月 2日 (火)	入学式 (本学講堂)・特別講演会	
4月 2日 (火)	オリエンテーション	
5日 (金)		
4月 5日 (金)	白百合ウェルカム・フェスティバル	
4月 8日 (月)	前期授業開始日	
6月 11日 (火)	修養会	
6月 15日 (土)	後援会総会 教育懇談会	
7月 29日 (月)	前期授業最終日	
後 期		
9月 20日 (金)	後期授業開始日	
9月 24日 (火)	後期オリエンテーション	
10月 25日 (金)	白百合祭準備日	
10月 26日 (土)	白百合祭・入試相談会	
27日 (日)		
11月 2日 (土)	就活応援セミナー	
12月 19日 (木)	クリスマスミサ・学生会クリスマス会	
12月 26日 (木)	年内授業最終日	
1月 6日 (月)	授業再開	
1月 27日 (月)	後期授業最終日	
2月 20日 (木)	卒業判定結果揭示	
3月 13日 (木)	卒業感謝ミサ・同窓会入会式	
3月 14日 (金)	学位記授与式	

仙台白百合女子大学後援会 2023年度 理事名簿

氏 名	担当部会
会 長 遠 藤 由紀子	大学連携部会副部長
副会長 佐々木 順 子	大学連携部会
副会長 相 原 裕 香	広報部会副部長
監 事 上 野 美 和	事業部会
監 事 菊 池 実 穂	広報部会
理 事 千 田 耕 也	事業部会部会長
理 事 関 陽 一	大学連携部会会長
理 事 青 木 豊	事業部会長副部長
理 事 鈞 持 陽 子	広報部会会長
理 事 秋 山 恵美子	広報部会
理 事 鈴 木 貴 子	大学連携部会
理 事 加 藤 亜由子	事業部会
理 事 柴 々木 君 枝	大学連携部会
理 事 佐々木 智 浩	大学連携部会
理 事 須 藤 美 和	事業部会
理 事 岩 澤 麻里子	事業部会
理 事 佐 藤 真由美	広報部会
理 事 氏 家 幸 子	同窓会長
顧問 矢 口 洋 生	学長
副会長 大 本 泉	大学連携部会/学部長
理 事 小 形 美 樹	事業部会/学生部長
理 事 志 田 昌 幸	大学連携部会/事務局長
理 事 石 岡 宏 美	広報部会/事務局次長/図書・地域貢献研究センター事務長
理 事 佐 藤 啓 朗	事業部会/教務課長
理 事 川 村 かほる	広報部会/学生課長
理 事 泉 田 礼 子	事業部会/キャリアリソース課長
理 事 堀 籠 未 来	大学連携部会/庶務課長/事務局

編集後記

早いもので年度末を迎える3月になり、後援会報も無事に発行することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。長く続いたコロナ禍から社会が戻りつつある中、今年は白百合祭が4年ぶりに通常規模での開催となりました。理事の皆さんと共に白百合祭に参加して、学生の皆さんの頑張っている様子を間近で見ることができ、とてもいい思い出になりました。後援会では、学生の就職支援・学生生活・勉学環境等をよりよく、安心・安全に学べるキャンパスを目指して運営されている大学を継続して支援しています。今後も会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。(広報部会 菊池 実穂)

仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局(庶務課)までご連絡願います。

検索 仙台白百合女子大学 後援会

仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目 的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため

【使 途】 ① 教育・研究環境の整備
② 奨学資金の充実
経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索 仙台白百合女子大学寄付金の募集

後援会より卒業生へ 記念品贈呈

卒業生の皆さまに記念品といたしまして「ふくさ」をプレゼントいたしました。



仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号

TEL : 022-372-3254

FAX : 022-375-4343

E-mail : kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp